19日本国特許庁

60 Int. Cl2.

砂日本分類 11 B 091

公開実用新案公報

⊕実開昭51-44713

B 22 D 11/12 C 21 D 1/00 C 21 D 9/70

10 A 710.4 10 A 712

庁内整理番号 6769 - 397217 - 427217 - 42 ③公開 昭51(1976). 4. 2

審查請求 有

国連続鋳片加熱炉

②実 頣 昭49-116794

砂出 顧 昭49(1974)9月30日

個考 和気完治

広島市観音新町1の20の26

包出 三菱重工業株式会社

東京都千代田区丸の内2の5の1

70復代理 人 弁理士 伊藤輝

砂実用新菜登録請求の範囲

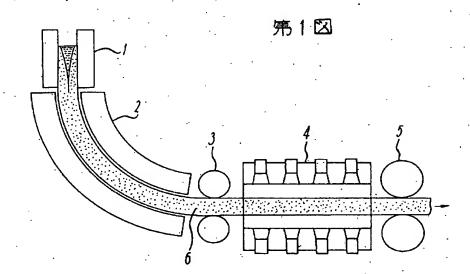
耐火材よりなる筒状炉体でと、同炉体でに装着 された多数の加熱バーナ8よりなる連続鋳片加熱 炉において、上記筒状炉体7の中心部を通る鋳片 6の各コーナ部に対応する炉体7の炉壁に、その…

長手方向に沿つて拗物面またはこれに近似の曲面 9をそれぞれ形成し、それら各曲面9の焦点10 を鋳片のコーナ部に合致させるとともに、それら 各曲面9の頂点に、上記加熱パーナ8のパーナノ メルを開口せしめたことを特徴とする連続鋳片加 熱炉。

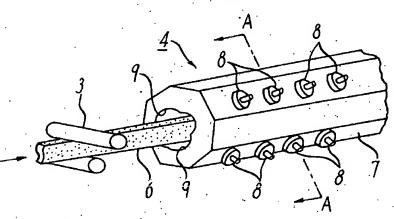
図面の簡単な説明

図面は本考案の一実施例を示し、第1図は、本 考案加熱炉の設置態様脱明図、第2図は本考案加 熱炉の一部の斜視図、第3図は第2図のA-A線 断面図である。

6 ……連続銕片、7 ……筒状炉体、8 ……加熱 パーナ、9……拗物面またはこれに近似な曲面、 10……焦点(鶴片のコーナ部)。







第3図

